

風のひろば

July
2025

vol.26

本学のミッション・ビジョン・バリュー（MVV）を策定

草間朋子名誉学長より

フローレンス・ナイチンゲール記章を寄贈いただきました。

大学の今

- ・入試改革について
- ・看護師・助産師・保健師国家試験結果について
- ・村嶋幸代名誉学長学費支援奨学金

新任教職員のご紹介

退職教員のご紹介

トピックス

研究紹介

卒業生・修了生インタビュー

看護学実習を終えて



エントランスホールにフローレンス・ナイチンゲール記章を展示

本学のミッション・ビジョン・バリュー (MVV)を策定

社会の状況や本学の特徴を踏まえつつ、将来に見据えたわかりやすいミッション・ビジョン・バリューを策定いたしました。

ミッションとは…本学が社会で実現したいこと

ビジョンとは…本学のミッションが実現した時の状態

バリューとは…大切にする価値観や行動指針

ミッション	人と社会の“Well-beingな未来”をともに拓く ～ Enjoy Challenges! Encourage Innovation! ～
ビジョン	ともに楽しめる 学び合える大学 新しいことに挑戦しつづける未来志向の大学
バリュー	学生とともに、新しいことに挑戦する未来志向のマインドを育みます 学生とともに、看護のプロフェッショナルに必要な能力を育みます 学生とともに、国際的な視点を培い、活動する能力を育みます 大分の人々とともに、より豊かで、健康的な生活のために活動します 人々とともに、社会をより良くする研究を実践します 大学に関わるすべての人とともに、挑戦を楽しめる大学運営を行います

検討の経緯について

令和6年9月にMVV作成のタスクグループを設置し、9名のメンバーにより7回会議を開催し検討を行いました。まず、全教職員と全学生に対してミッションについてのアイデアを募集し、ミッション(本学が社会で実現したいこと)についてメンバー間で検討しました。教職員と学生のアイデア、本学開学当初から今まで大切にしている考え、およびそれらを踏まえ未来の大学像を描きながら検討を重ね、「学生・社会・人々のために」「ともに」「変化を楽しむ」「未来志向」のKey概念を共有しました。

ミッションは、本学が社会で実現したいこととして「人と社会の“Well-beingな未来”をともに拓く」とし、サブタイトルを

「Enjoy Challenges! Encourage Innovation!」としました。「楽しむ」には、目的(変化、変革)が明確でポジティブに捉えていること、その達成に専心できていること、そのこと自体が充実していることを含意している。サブタイトルを英語にしたのは、日本語では重くなりがちな言葉を、若い世代に受け入れられやすいattractiveな表現としたいと考えたからです。

次いで、これらKey概念を表現するビジョン(本学がミッションを実現した時の状態)とバリュー(大切にする価値観や行動指針)を教育・研究・社会貢献・大学運営ごとに作成し、MVVが完成いたしました。



中心にある楕円は目を、図の下方に示した両手と合わせて看護の「看(手と目)」を表現いたしました。楕円中心の黒目に当たる部分には本学旗(大学)を配し、本学旗は地球もイメージして世界を見つめ(見つめている世界が瞳に映っている)、2つのビジョンを記載しています。目に当たる部分の左側には教育に関するバリューを、右側には研究・社会貢献・大学

運営に関するバリューを配し、これらを学生、教職員、地域の人々など様々な人の手で包み込むように支えていることをイメージしています。

この絵の色であるターコイズグリーンのターコイズはトルコ石のことであり、勇気や積極性、希望などの意味もあります。

草間朋子名誉学長より フローレンス・ナイチンゲール記章を寄贈いただきました。

本学の初代学長 草間朋子名誉学長が放射線看護に関する活動や診療看護師(NP)の養成教育の功績が認められ「第49回フローレンス・ナイチンゲール記章」を受章されましたが、草間朋子名誉学長より記章を寄贈いただき、令和6年12月

18日水曜日に寄贈式を執り行いました。

フローレンス・ナイチンゲール記章は本学正面玄関エントランスホールに展示しております。本学にお越しになられた際はご覧ください。

草間朋子名誉学長よりメッセージ

フローレンスナイチンゲール記章(FNM)を、寄贈させていただくことができホッとしております。大分県立看護科学大学は、私の職業人としての第二の人生(看護界にどっぷり浸かることとなった)の起点となった場所です。「看護教育のモデル」となる看護大学を築るという大きな夢に向かい、教職員、県庁、大分県看護協会・連盟のみなさんと力を合わせ、名実ともに「輝き続ける看護大学」を、1998年大分の地に誕生させていただきました。FNMは、大学関係者全員で、社会・時代のニーズに対応したさま

ざまな課題にチャレンジしてきた結果に対するご褒美だと思っております。先輩たちの努力の足跡としてのこのFNMが、看護を目指している後輩のみなさんの「自分磨き」のきっかけになればと思っています。辛いこともたくさんあります。しかし、看護には、人々の「いのち」と「健康」を護るという使命と夢があります。「あまえず、あせらず、あきらめず」夢に向かって元気に、明るく、コツコツと努力を積み重ねてください。第二のふるさと「大分」そして「看護科学大学」大好きです。応援しています。



●フローレンス・ナイチンゲール記章とは

近代看護を確立したナイチンゲールの功績を記念して、1920年に創設された記章です。世界的に顕著な看護活動を行った看護師などの中から、2年に一度、赤十字国際委員会の選考によって受章者が決定されます。



大学の今

入試改革の取り組み

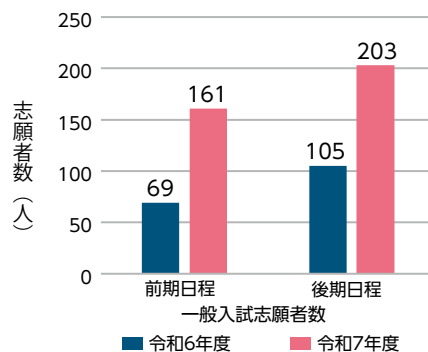
令和6年度は、これまで以上に多くの高校生や保護者、および高等学校の先生方に本学のことを知ってもらい、入学に興味を持ってもらえるように学部入学者選抜試験(入試)改革に取り組みました。

その1つは、入試科目の変更です。多様な特性をもつ学生の入学は、入学後の教育に促進的な効果が期待されます。そのために多くの多様な学生が本学に入学志願することが必要です。そこで、一般入試・前期日程における大学入学共通テストの指定科目の変更を行いました。これにより、これまで受験できなかった数学1科目選択者、および理科1科目選択者が受験可能になりました。また、令和8年度入試からは総合問題を小論文に変更いたします。

2つめは、入試広報活動です。業者主催の進学説明会が中心の入試広報活動を見直し、高校との接続機会を増やし、互いの情報交換をはじめ入学後の学生像が描けるような広報を目的に企画運営を行いました。例えば、県内高校延べ21校に2回の

訪問、高校教諭対象の進学説明会を県外校にも案内し、出身校の先生と学生との交流会を企画、職業選択に悩む高校1～2年生を対象に、看護師という仕事の魅力について、多分野の教員と自由に語り合う機会とした公開講座の開催、全国高校生対象のライブ配信による大学別説明会への参加、大学入学共通テスト後に最終進路に迷う受験生対象のオンライン進学相談会などです。

結果として、令和7年度一般選抜(前期日程・後期日程)延出願者数364名(7.3倍)と多くの志願者につながったものと思われます。



看護師・助産師・保健師国家試験結果について

2024年度、本学の学生は助産師・保健師国家試験では全員が合格、看護師国家試験は受験者85名のうち84名が合格しました。看護師国家試験は全員合格が叶わず残念でしたが、依然として高い合格率を継続しています。

最終学年の4年次生は、総合看護学実習や卒業研究、就職や進学準備などさまざまなことと並行して国試対策に取り組みました。卒業研究発表会後は、特に集中して勉強に取り組む姿が見られました。体調管理に気をつけ、2月中旬の試験日には全員が受験することができました。2025年度も引き続き、学生が主体

的に国試対策に取り組めるための支援とともに、より個別の状況に合わせた支援を行っています。

なお、各国家試験結果の詳細は次の通りです。

	本学合格率 (合格者/受験者)	全国全体 合格率	全国新卒 合格率
第114回看護師国家試験	98.8% (84名/85名)	90.1%	95.9%
第111回保健師国家試験	100% (8名/8名)	94.0%	96.4%
第108回助産師国家試験	100% (7名/7名)	98.9%	99.3%

村嶋幸代名誉学長学費支援奨学金

前学長である村嶋幸代名誉学長より、大学院修了後に大分県内の医療機関、行政機関、高等教育機関で勤務し、活躍する意思のある方を支援してほしいとの思いから本学に500万円のご寄付をいただき、設立した奨学金です。

本学同窓会である四つ葉会、もしくは厚生学院同窓会である草の実会の会員で、博士課程前期広域看護学コース、もしくは博

士課程後期看護学専攻に在籍する者が対象です。入学後6月末までに申請することになっています。

支給額は博士課程前期広域看護学コース在籍者については25万円、博士課程後期看護学専攻在籍者については50万円を給付します。

Information [お知らせ]

「未来応援基金」ご寄附のお礼とお願い

「未来応援基金」は、大分県立看護科学大学創立20周年を契機に、学生の学業の継続や地域との連携、国際化・グローバル化への対応等、学生・大学院生の活動を支援するために設置された基金です。

ご賛同いただいた皆様の温かいお心遣いに感謝申し上げます。いただいた貴重な寄附金は、大切に活用させていただきます。今後とも本校への応援をよろしくお願いいたします。

令和6年度寄附金額

合計 1,000円
平成30年度～令和5年度までの累計額：5,867,000円

確かな看護の力で地域の保健医療を牽引し、より良い社会を創造する看護職を育成するために、皆さまの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

使 途

皆さまからいただいたご寄附は、学生・大学院生の支援のため、下記事業に活用させていただきます。

- (1) 学業の継続(奨学金の給付、授業料等の減免等)
- (2) 地域連携(地域貢献活動への支援、地域の保健医療機関での研修支援、自治体・地域・企業と連携した研究教育等)
- (3) 国際化・グローバル化への対応(短期留学、国内外での活動、研修派遣等)
- (4) その他、基金の目的達成に必要な学生・大学院生の活動支援

寄附金額

金額は特に定めておりませんが、1口1,000円として何口でも可能です。基金の趣旨にご賛同くださる方ならどなたでもご寄附いただけます。

ご寄附の方法

大学ホームページ(<https://www.oita-nhs.ac.jp>)掲載のフォームからお申し込みいただくか、本学事務局まで電話にてご連絡をお願いします。

お問い合わせ先

大分県立看護科学大学未来応援基金事務局
(大学事務局総務グループ内)
TEL : 097-586-4300(代表) FAX : 097-586-4370
E-mail : somu@oita-nhs.ac.jp

新任教職員のご紹介



社会看護学研究室 教授 持田 恵理

4月から社会看護学研究室に着任しました。前職は、市町村の保健師として、自治体の政策形成等に携わっていました。看護実践の楽しさをこれからの看護を担う学生さんに伝えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



看護アセスメント学研究室 講師 三笥 美和

4月より看護アセスメント学研究室に着任しました。病院で看護師として勤務した後、大学院で看護情報学を学び、病院情報管理部では電子カルテの運用に携わってきました。看護の楽しさや難しさ、そして看護情報学の魅力を学生の皆さんに伝えていきたいと思っています。



看護アセスメント学研究室 助教 安部 涼子

4月より看護アセスメント学研究室に着任致しました。本学老年NPコースを修了しております。大学での勤務は新たな挑戦ですが、学生の皆さんと共に学び成長していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



地域看護学研究室 講師 首藤 佐織

4月に地域看護学研究室に着任しました。行政保健師としての勤務の間に実習指導や看護政策担当として本学に関わり、学生として学んだ期間もありましたが、教員としての勤務は初めてです。自分自身学びながら地域看護の魅力を伝えたいと思います。よろしくお願いいたします。



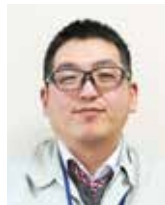
成人看護学研究室 助教 井上 陽士

4月より、本学成人看護学研究室に着任いたしました。私は、これまで県外の大学病院や県内3次医療機関において、急性・重症患者看護専門看護師として臨床の最前線に携わってまいりました。看護実践の中には、多くのやりがいや学び、そして何より楽しさがあります。そうした実践の魅力を学生の皆さんと共有し、ともに深めていけることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



看護管理学研究室 助教 大矢 七瀬

4月に着任いたしました。地域助産師として公的機関や企業など様々な方と連携し、子育て支援を行ってきました。世代を問わず、その人らしく生活を送るための支援について、探求していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



事務局教務学生グループ 主査 北村 卓也

4月1日付け人事異動で教務学生グループに着任しました。前職は中津市内にある北部保健所で、予算管理や契約事務、精神保健福祉にかかる事務等を担当していました。

試行錯誤中ですが、皆さんが充実した大学生活を送れるよう鋭意精進して業務に取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。



事務局教務学生グループ 主任 宇田 蘭

4月から事務局教務学生グループに着任しました。これまで、他業界で事務職を経験してきましたが、大学の事務は初めてなので、覚えることも多く戸惑うことがあります。周りに助けられながら業務を進めているところです。

学生の皆さんが充実した生活を送れるようサポートしていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



事務局財務グループ 副主幹 小野 育子

4月の人事異動で事務局の財務グループに着任しました。主に経理と施設管理の事務を担当しています。

県と大学では、会計事務の考え方や処理方法が違うので戸惑うことが多いですが、皆さんが研究業務や学業に集中して取り組めるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



令和7年度 理事会・経営審議会 委員一覧

令和7年7月1日時点

理事長	麻原きよみ (大分県立看護科学大学 学長)
理事	福田 広美 (大分県立看護科学大学 学部長)
理事	稲垣 敦 (大分県立看護科学大学 研究科長)
理事	阿部 剛 (大分県立看護科学大学 事務局長)
理事(非常勤)	井原 健二 (大分大学医学部附属病院 病院長)
理事(非常勤)	宇都宮 徹 (大分県立病院 病院長)
理事(非常勤)	渡邊 規生 (富士甚醬油株式会社 代表取締役社長)

監事(非常勤)	福田 安孝 (公認会計士)
監事(非常勤)	中野 洋子 (公益社団法人認知症の人と家族の会大分県支部 代表)
経営審議会委員	千野 博之 (弁護士)
経営審議会委員	吉村 充功 (日本文理大学 副学長)
経営審議会委員	小田圭之介 (大分合同新聞社 取締役)
経営審議会委員	玉井 保子 (大分県看護協会 会長)

※理事長及び理事6名は経営審議会委員も兼ねる。

退職教員のご紹介

令和7年3月31日で退職された皆様です。大変お世話になりました。新天地でのご活躍を祈念いたします。

職名	氏名	職名	氏名
教授	藤内 美保	講師	廣瀬 福美
教授	加藤 典子	学内講師	姫野 雄太
講師	藤本 優子	助教	山田 貴子

メッセージご紹介



藤内 美保

令和7年3月をもって、多くの方に支えられ定年退職を迎えられましたこと、心より感謝申し上げます。特に学部学生さん、大学院生さんと日々関わって、新しい発想で挑戦する姿、誠実に頑張りぬぐ力、様々な思いを乗り越えやり遂げる力、そして頼もしく立派に成長する姿を傍でみることができたことが、開学から27年間の何よりの原動力でした。卒業後・修了後のご活躍をさらに楽しみにしています。ほんとうにありがとうございました。



加藤 典子

令和4年度から3年間、皆様に温かくご指導、ご支援を賜りましたことを心より御礼申し上げます。教育・研究・大学運営など、さまざまな貴重な経験を積むことができました。また大分県での生活も含めて、私にとってかけがえのない財産となりました。末筆ながら、貴学のさらなるご発展と、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

TOPICS

【トピックス】

■大分県国民保護共同実動訓練において本学の3年次生が被災者役として参加

1月16日に、大分県国民保護共同実動訓練が行われ、本学の3年次生が被災者役として参加しました。大分スポーツ公園でのテロ事件を想定した訓練で、その場で動けない被災者、自力ですぐにその場から避難する被災者など、学生一人ひとりが異なる傷病者役割を演じました。救助活動における迅速さとコミュニケーションの重要性を実感し、被災者への細やかな配慮の大切さに気づくなど、多くのことを学びました。



■韓国・インハ大学との学生交流

2月9日～13日の5日間、韓国・インハ大学校医科大学看護学科の7名、教員1名が来県しました。10日には、本学を訪れ、1～3年生7名との学生交流会を行い、浴衣に着替えて、茶道にチャレンジしました。期間中は、本学学生とともに大分市内の保健医療福祉施設を訪問しました。日本・韓国で看護を学ぶ学生同士で交流を深めることが出来ました。



■令和6年度の卒業式・修了式

3月18日、令和6年度の卒業式・修了式が執り行われました。式典では、学

部の卒業生、大学院の修了生のひとりひとりに、麻原学長から学位記が手渡されました。

卒業生・修了生のみなさんのご活躍とご健勝を心よりお祈りいたします。



■第13回森林探検ウォーキングに参加

3月29日に富士見が丘連合自治会主催の「第13回森林探検ウォーキング」が開催され、学生20名と健康増進プロジェクトチームの教員が参加しました。本学は第1回から欠かさず参加しています。

はじめに学生が参加者118名の血圧測定を行なってから、開会式とラジオ体操を行ない、5kmと7kmの2つのコースに分かれてウォーキングをしました。



■令和7年度入学式

4月8日に入学式を執り行いました。学部1年次生81名、大学院博士前期（修士）課程29名と後期（博士）課程3名の計113名が入学しました。新しい一歩を踏み出した学生の皆さんに、心からお祝い申し上げます。これからの大学生

活が皆さんにとって素晴らしいものとなりますように。



■学生主催 スポーツ交流会

学部3年生の主催のスポーツ交流会を行いました。約40名の学部生、教職員が体育館に集まり、ソフトバレーボールを楽しみました。1年生も参加して先輩と交流し、楽しい汗を流しました。



■若葉祭

5月17～18日に若葉祭を開催しました。軽音部ライブや仮装大会等のステージイベントや災害体験や筋力チェック、茶道サークルによるお茶会等の体験イベントが行われ、約500名の方にお越しいただきました。ご来場、ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。





研究紹介

文化を超えて支え合う

—— 外国人労働者の健康と共生のかたち

少子高齢化に伴い、生産年齢人口(15～64歳)は年々減少しています。そのような中、国内の労働力を支える存在として、外国人労働者が様々な分野で活躍しています。特に地方の製造業や農業では、欠かせない担い手となりつつあります(図1)。

外国人労働者の多くは20～30代の若い世代で、比較的健康な「ヘルシーマイグランド」として知られています。しかし、日本での就労生活の中で強いストレスを感じ、特に女性ではホルモンバランスが崩れ、月経痛や月経不順など女性特有な症状を経験している方が多いことがわかりました。中には、症状が悪化していても誰にも相談できずにいる方もいます。技

能実習生として働く女性外国人のまわりには、就労を支援する日本人指導者がいます。指導者は、それぞれ工夫をしながら支援や配慮に取り組んでいます。しかし、その健康支援に関

する力量には、経験や知識の差によるばらつきがみられます。そこで、女性外国人労働者への健康支援を行う際に活用できる、支援の指標となる尺度項目を作成しました。この尺度項目は大きく「人材育成」、「文化への理解」、「予防と健康増進」の3つに分けられます。指導者の人材育成の尺度得点が高いと、外

国人労働者のストレスレベルが低いことがわかり、尺度項目の活用が女性外国人労働者の健康支援に役立つことが示唆されました。

よりよい相互的な関係づくりは、外国人労働者の健康に寄与し、それが事業所から地域へと広がることで、多文化共生社会の実現につながると考えています。これからも外国人労働者の健康づくり(図2)や、日本人指導者の健康支援力の向上に寄与する研究を続けていきたいと思っています。

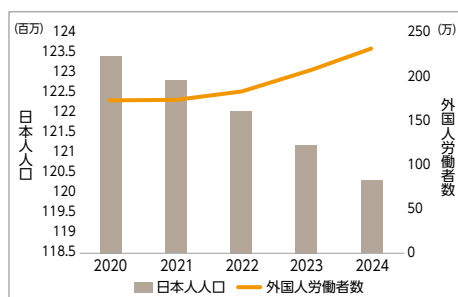


図1 日本人人口と外国人労働者の推移
総務省統計局人口推計と厚生労働省外国人雇用状況届出状況より作成



図2 外国人労働者の皆さんを対象に学生と協力して行った健康教室の風景

卒業生・修了生インタビュー

大分県立病院 看護師 中村 有希



私は2022年度に本学を卒業し、現在は大分県立病院で消化器内科と神経内科の混合病棟で看護師として勤務しています。

消化器内科では、急性期疾患で突然の入院になる方や、がん疾患に対して化学療法目的で入院する方など幅広い看護を提供しています。疾患や状態に応じた患者教育や現在の患者さんの苦痛を全人的に捉え、ニーズを満たすことのできるようなケアを提供することを心がけています。

神経内科の患者さんは、疾患による症状で体を自由に動かすことができないことや、自身の要望や思いを十分に表出することができない方もいるため、患者さんの立場に立って、環境調整や声掛けなどのケアの配慮を行っています。また、体が動かしにくいからといって、すべての動作を看護師の介助で行うのではなく、患者さんができそうなことは看護師と一緒にすることで可能な限り自立を促すことで、入院中から退院後を見据えた援助を行なっています。

どちらの診療科でも共通して言えることは、多職種との連携や患者さんのQOLの向上を目指し、入院時から退院を見据えて支援を行なっていくことだと思います。日々の学びを活かしてこれからもより良い看護を提供していきたいと思っています。

看護学実習を終えて

基礎看護実習では、病棟での看護を初めて経験しました。患者さんが転棟したため、二名の患者さんを受け持ちさせていただきました。コミュニケーションをとることやバイタルサインをとることが主な目標でしたが、それぞれの患者さんの病態や心身の把握が大変でした。特に患者さんの個性を考慮するという点をカンファレンスでも指摘をされて難しさを感じましたが、とてもやりがいを感じました。

私は、コミュニケーションを取る際に記録のためだけでなく、患者さんの精神的ケアにもつながるように意識していました。実習最終日には二人目の受け持ち患者さんから「話を聞いてくれてありがとう。優しいね。」と言葉をいただきました。この経験を通じて個性の考慮や患者さんに寄り添う姿勢が大切であると感じ、これから知識や技術を身に付け、さらに良い看護を患者さんに提供できるように努力していこうと感じた充実した実習でした。

2年次生 山根 颯太



大分県立看護科学大学後援会からのお知らせ

後援会は、大学事業の援助、学生の福利厚生増進などを目的とし、学生活動の助成事業などを行っています。

令和7年度トピックス

★総会★

入学式終了後、1年生の保護者を対象に開催し、予算や決算等の承認をいただきました。

★看護実習に係る交通費等補助の見直し★

4年次生の地域看護学実習、在宅看護学実習及び総合看護学実習に係る交通費等補助金について、宿泊費単価の増額等を行いました。また、1年次生の基礎看護学実習に係る交通費補助金を新たに設けました。

★若葉祭への支援★

5月17日・18日に開催された若葉祭。天気心配されましたが、皆さんが主体的に企画運営し、無事に終了することができました。若葉祭を通して皆さんの絆が深まった2日間になったことでしょう。後援会でもステージイベント等に要した費用を支援しました。

★お問い合わせ★

大分県立看護科学大学後援会事務局

(大学事務局教務学生グループ内)

TEL:097-586-4300 (代表) FAX: 097-586-4370

E-mail:info@oita-nhs.ac.jp

看護ひとくちメモ

脱水症について

脱水症とは、体内の水分量が不足している状態を指します。体液の喪失により、水分と電解質のバランスが崩れてしまうことで起こります。

脱水症は、軽度の脱水から重篤な脱水まで、症状の程度が様々です。

(軽度): 体重の3～5%の水分喪失 喉の渇き、尿量減少などがみられる

(中等度): 体重の6～9%の水分喪失 倦怠感、頭痛、嘔吐、眩暈などがみられる

(重度): 体重の10%以上の水分喪失 意識障害、痙攣、運動障害などがみられる

＜脱水症のチェック方法＞

①握手をしてみる

外気で冷えていない場合でも手が冷たければ疑わしい

②口腔内を見せてもらう

唇や口腔内の粘膜を確認し、乾燥していたら疑わしい

③ツルゴール反応

皮膚をつまんで離した際、元の状態に戻るまでの時間を確認する。2秒以上、元の状態に戻らなかったら疑わしい(ツルゴール低下)

④親指の爪の先を押してみる

白くなった爪が、赤みが戻るのに3秒以上かかれば疑わしい

⑤腋下を確認する

通常腋下は汗で湿っているが、乾いていたら疑わしい

＜対処方法＞

(軽度～中等度): 経口補水液の摂取

(重度): 医療機関受診

経口補水液を摂取しても症状が変わらない場合は早めに医療機関を受診しましょう。脱水症は熱中症のリスクを高めます。早期に脱水症に気づき、適切に対処することが大切です。

看科大[26号]クイズ・プレゼント

問題

今回策定した本学のミッションをお答えください。

下記のとおりハガキでご応募いただくか、クイズの答えなど1～5までを記載して、メール(koho@oita-nhs.ac.jp)でご応募ください。

正解者の中から抽選で3名様に図書カード(2,000円分)をプレゼントします。

郵便はがき 8701201 大分県立看護科学大学事務局 行	大分市大字廻樫野2944-9
--	-----------------------

1. クイズの答え
2. 郵便番号
3. 住所
4. 氏名(年齢)
5. 記事へのご感想や
本学へのご意見

【締め切り】令和7年8月31日 当日消印有効

当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

Schedule [スケジュール]

7月	12日(土)	オープンキャンパス
	14日(月)～18日(金)	韓国ウルサン大学との 学生交流プログラム 学生受入 大学院特別選抜試験 (広域看護学・助産学・NP)
	16日(水)	夏季休業
8月	16日(水)	夏季休業
	～9月2日(火)	
	18日(月)～22日(金)	韓国ウルサン大学との 学生交流プログラム 学生派遣 大学院入学試験
	22日(金)	大学院研究中間報告会
	27日(水)	大学院研究計画報告会、 論文レビュー報告会
9月	29日(金)	老年看護学実習、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ、 小児看護学実習、母性看護学実習、 精神看護学実習
	～11月21日(金)	
9月	20日(土)	公開講座
10月	25日(土)	第27回看護国際フォーラム
11月	8日(土)	公開セミナー
	22日(土)	学校推薦型選抜試験、社会人選抜試験
12月	1日(月)	卒業研究発表会
	8日(月)～22日(月)	看護アセスメント学実習
	24日(水)	冬季休業
～1月7日(水)		

※スケジュールは、変更になる場合があります。